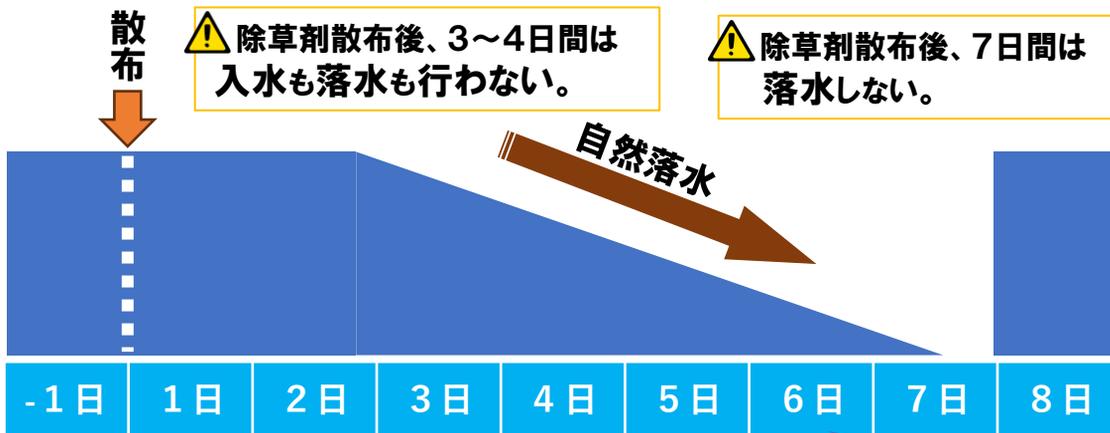


# 除草剤成分流出防止し、安定した除草効果を得るために

## 除草剤散布後 7日間は 落水しない



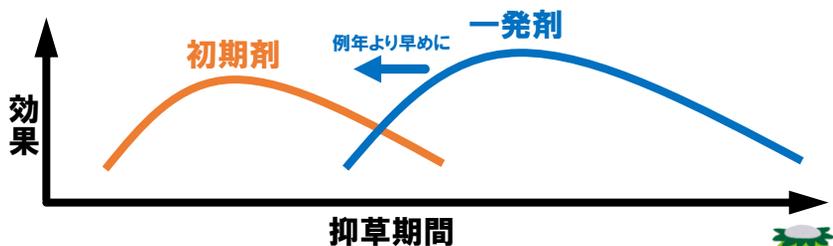
散布時の水深は深めにして拡散させる。  
粒剤：5cm以上  
その他拡散剤：7cm以上

💡 除草剤散布後、2～3日田面が露出しても除草効果に影響は無いので、じっとガマン！

差し水する場合は、除草剤処理層を壊さないようにゆっくりと行います。

気温が高い年の雑草は生育早いぞ！

💡 初期剤と一発剤の除草効果が重なるように散布して、切れ目のない抑草期間にする！  
例年よりも一発剤散布のタイミングを早くする。



知らぬ間に大きくなっているのはキュウリと雑草

**斑点米カメムシ類発生早い！** 世代経過するごとに発生量多くなるか？！

アカスジカスミカメの発生時期が平年よりかなり早くなっていることから、今後、世代を経過するごとに発生量が多くなるおそれがあるため、水田除草剤を適切に使用し、アカスジの水田内への侵入原因となるホタルイ類等のカヤツリグサ科雑草やノビエの除草を確実に行ってください。高温により雑草の生育が早まる場合があるため、雑草の生育状況を確認し、処理時期が遅れないようにしましょう。

おばこ稲作情報

LINE  
であなたの手元に届くWebマガジン

2024年5月  
No. 5 1

JA秋田おばこ